



**HP ユーザーガイド**

**HP Color LaserJet**

**Managed MFP E786dn**

**FAX アーカイブ (受信 FAX データ保存) 設定手順**

**Rev.2**



## 目次

1. ファックスアーカイブとは .....	3
2. ファックス送信設定の確認 .....	4
3. ファックス受信セットアップの確認 .....	6
4. ファックスアーカイブの設定 .....	8
4.1. 設定方法概要 .....	8
4.2. ネットワークフォルダに保存する場合 .....	10
4.3. Eメールにファイル添付して送信する場合 .....	14



## 1. ファックスアーカイブとは

ファックスアーカイブとは、受信した Fax を PDF や TIFF ファイルで共有フォルダに保存したり、指定した電子メールアドレスにファイル添付して送信することができます。受信 Fax だけでなく、送信済み Fax を対象にすることもできます。

## 2. ファックス送信設定の確認

EWS [Embedded Web Server] (内蔵 Web サーバ) を表示します。

EWS (内蔵 Web サーバ) とは、製品に内蔵されている Web 管理ツールです。

製品の機能設定や、ステータスを確認することができます。

この機能を使用するには、製品とパソコンが同一のネットワークに接続されている必要があります。

EWS の表示方法は、ユーザーガイド『EWS の表示方法』をご参照下さい。

2.1.EWS 画面で、

(1)上部にあるメニューバーで、**ファックス** をクリックします。

(2)表示された画面左側で、**ファックス送信設定 - ファックスデフォルトオプション** をクリックします。

(3)**ファックス送信の有効化** にチェックが入っていることを確認します。



2.2. **内蔵モデム** をクリックします。





2.3.画面をスクロールして、以下の項目が設定されていることを確認します。

設定項目	概略説明	お客様記入欄
場所		日本
会社名	お客様の会社名	
ファックス番号	お客様のファックス番号	

情報 一般 コピー/印刷 スキャン/送信 送信機 送信機 送信機 セキュリティ HP Web サービス ネットワーキング

ファックス送信設定 > デフォルトジョブオプション

ファックス設定

場所 \* 日本

会社名 \* 会社

ファックス番号 \* 0312345678

フレンドリ名

ファックス設定

回線エラーの音量 低

ダイヤルモード トーン

ダイヤル遅延時間

ファックスの送信速度 中速 (4.8 - 14.4K)

1st リング 5

2nd-発生時のリング 2

無応答時のリング回数 0

11-51分 10-91回

10-91回 10-21回

通話中の場合のリング 3

10-91回

ダイヤルトーンを横出

適用 キャンセル

### 3. ファックス受信セットアップの確認

3.1.EWS 画面で、

- (1)上部にあるメニューバーで、**ファックス** をクリックします。
- (2)表示された画面左側で、**ファックス受信セットアップ** をクリックします。
- (3)**ファックス受信の有効化** にチェックが入っていることを確認します。



3.2. **内蔵モデム** をクリックします。





3.3.画面をスクロールして、以下の項目が設定されていることを確認します。

設定項目	概略説明	お客様記入欄
場所	—	日本
会社名	お客様の会社名	
ファックス番号	お客様のファックス番号	

情報 一般 コピー/印刷 スキャン/送信 ファックス サブスクリプション トラブルシューティング セキュリティ HP Web サービス ネットワーキング

ファックス受信セットアップ

共通ジョブ設定 内蔵メモリー

回線 1

デバイス設定

場所 *	会社名 *
日本	会社
ファックス番号 *	フレンドリ名
0312345678	

ファックス受信設定

呼び出し音量	応答するまでの呼び出し回数	ファックスの受信速度
低	1	中速 (v.17 - 14.4k)
呼び出し間隔	呼び出し回数上限	
600 00-6000 ms	68 00-1000 Hz	

適用 キャンセル

## 4. ファックスアーカイブの設定

### 4.1. 設定方法概要

4.1.1. 上部にあるメニューバーで、**ファックス** が選択されているとき、

- (1) 表示された画面左側で、**ファックスアーカイブおよび転送** をクリックします。
- (2) ファイルのアーカイブ プルダウンリストを展開し、**アーカイブして印刷**、又は **アーカイブのみ** をクリックします。





各設定項目では、プルダウンリストを展開することにより、次のような設定値を選択することができます。

設定項目	設定値
ファックスのアーカイブ	以下から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>アーカイブしない（印刷のみ）</li><li>アーカイブして印刷</li><li>アーカイブのみ</li></ul>
アーカイブするファックスジョブのタイプ	以下から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>すべてのファックス</li><li>送信済みファックス</li><li>受信ファックス</li></ul>
ファイルタイプ	以下から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>MTIFF</li><li>PDF</li><li>PDF/A（保存可能）</li></ul>
アーカイブエラー時 （アーカイブのみを選択時に表示されます）	以下から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>何もしない</li><li>受信ファックスを印刷</li><li>受信したファックスを保存</li></ul>
アーカイブエラー通知を印刷	チェックを入れる / チェックを入れない
アーカイブ先	以下から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>電子メール</li><li>ネットワークフォルダ</li><li>FTP サーバ</li></ul>

#### \* 設定例

情報 一般 複写/印刷 スキャン/コピー/転送 **ファックス** 特約品 トラブルシューティング セキュリティ HP Web サービス ネットワーキング

ファックス送信設定  
ファックスジョブの印刷設定  
ファックス受信レポート  
ファックス受信レポート  
**ファックスアーカイブ および転送**  
ファックス使用状況

### ファックスアーカイブ および転送

ファックスアーカイブ設定を使用して、すべての受信および送信ファックスのデータを電子メール、ネットワークフォルダ、またはFTPサーバに送信できます。

ファックスのアーカイブ  
アーカイブのみ

アーカイブするファックスジョブのタイプ  
すべてのファックス

ファイルタイプ  
MTIFF

アーカイブエラー時  
受信ファックスを印刷

アーカイブエラー通知を印刷

アーカイブ先  
電子メール

宛先  
[空欄]

差出人  
[空欄]

電子メールの宛先を複数指定する場合は、姓(姓)または名(名)で区切ります。

送信電子メールサーバ (SMTP)  
[追加]をクリックして、サーバを設定します

適用 キャンセル

## 4.2. ネットワークフォルダに保存する場合

ここでは、**アーカイブのみ**を選択し、受信 Fax を PDF ファイルとして、ネットワークフォルダ（共有フォルダ）に保存する場合について記載します。

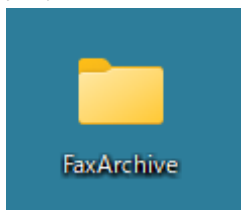
以下の項目を調べ、記録します。

項目	概略説明	例	お客様記入欄
Windows ドメイン名	ネットワークのドメイン名です WORKGROUP 環境では、空白です (ネットワーク管理者にご確認下さい)	hp.com	
共有フォルダの URL	共有フォルダの場所を示すネットワークパス	¥¥MyPC¥FaxArchive	
ユーザー名	共有フォルダを作成したパソコンのログインユーザー名 (設定されていない場合は空白)	hp	
パスワード	共有フォルダを作成したパソコンのログインパスワード (設定されていない場合は空白)	hp@pass1	

### 4.2.1. パソコン上の任意の場所に、

Fax を保存するフォルダを作成します。

- \* フォルダを作成する場所はどこでも構いません。  
但し、設定後にフォルダを違う場所に移動した場合は、これから記述する EWS(内蔵 Web サーバ) での **ファクスアーカイブおよび転送** 設定を変更する必要があります。
- \* フォルダ名は任意の名称で構いません。  
但し、設定後にフォルダ名を変更した場合は、これから記述する EWS(内蔵 Web サーバ) での **ファクスアーカイブおよび転送** 設定を変更する必要があります。



### 4.2.2. 作成したフォルダを右クリックし、 プロパティ をクリックします。

### 4.2.3. プロパティ画面で、

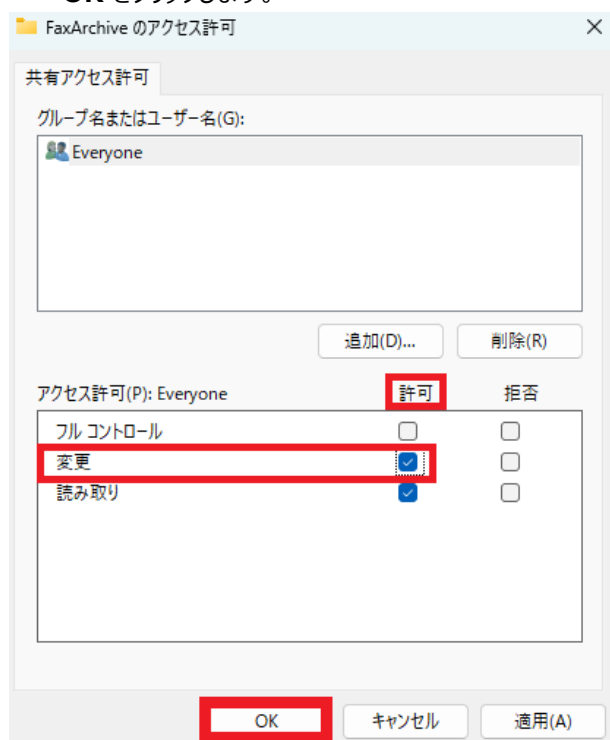
- (1) **共有** をクリックします。
- (2) **詳細な共有...** をクリックします。



- 4.2.4.(1) **このフォルダーを共有する** にチェックを入れます。  
(2) **アクセス許可** をクリックします。



- 4.2.5. アクセス許可で、**変更** の **許可** にチェックを入れ、**OK** をクリックします。



- 4.2.6. **OK** をクリックします。



- 4.2.7.(1) ネットワーク パス を確認し、  
手元に記録しておきます。  
(2) **閉じる** をクリックします。



4.2.8.パソコンのログイン時の **ユーザー名**、**パスワード**、**Windows ドメイン名** を手元に記録しておきます。

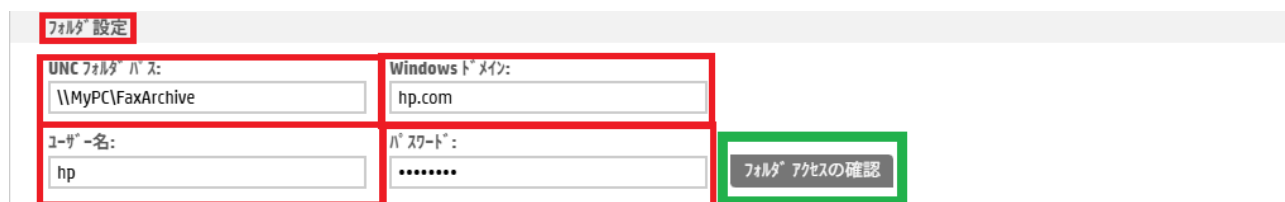
4.2.9.EWS の **ファックス - ファックスアーカイブおよび転送** 画面の **ファックスアーカイブ**の各項目を以下のように設定します。

設定項目	設定値
ファックスのアーカイブ	アーカイブのみ
アーカイブするファックスジョブのタイプ	受信ファックス
ファイルタイプ	PDF
アーカイブエラー時	受信ファックスを印刷
アーカイブエラー通知を印刷	(チェックを入れる)
アーカイブ先	ネットワークフォルダ



4.2.10.画面をスクロールして、**フォルダ設定** の各項目を設定します。

- (1) **UNC フォルダパス** : 記録している **共有フォルダの URL 名** を入力します
- (2) **Windows ドメイン** : 記録している **Windows ドメイン名** を入力します。
- (3) **ユーザー名** : 記録している **ユーザー名** を入力します。
- (4) **パスワード** : 記録している **パスワード** を入力します。
- (5) 設定値を入力後、**フォルダアクセスの確認** をクリックします。







### 4.3. Eメールにファイル添付して送信する場合

ここでは、**アーカイブのみ**を選択し、受信 Fax を PDF ファイルとして、指定したメールアドレスに送信する場合について記載します。

以下の項目を調べ、記録します。

項目	概略説明	例	お客様記入欄
SMTP サーバ	お使いの送信サーバの ホスト名(DNS 名) 又は IP アドレス	smtp.abc.com	
SMTP サーバの ポート番号	通常は 25 番です	25	
メールサーバがユーザー認証を 必要とする場合には、 ユーザー名とパスワード	—	ユーザー名： xyz@abc.com パスワード：Fax@arc1	ユーザー名： パスワード：

#### 4.3.1. EWS の ファックス - ファックスアーカイブおよび転送 画面の ファックスアーカイブの各項目を以下のように設定します。

設定項目	設定値
ファックスのアーカイブ	アーカイブのみ
アーカイブするファックスジョブのタイプ	受信ファックス
ファイルタイプ	PDF
アーカイブエラー時	受信ファックスを印刷
アーカイブエラー通知を印刷	(チェックを入れる)
アーカイブ先	電子メール



4.3.2.画面をスクロールして、**送信電子メールサーバ (SMTP)** で、**追加…** をクリックします。

送信電子メールサーバ (SMTP)

[追加] をクリックして、サーバを設定します

追加… 編集… 削除… 上に移動 下に移動

4.3.3.SMTP サーバの IP アドレス、又はホスト名(DNS 名) を入力し、**次へ** をクリックします。

情報 一般 コピー/印刷 スキャン/デジタル送信 ファックス サブライク トラブルシューティング セキュリティ HP Web サービス ネットワーキング

送信電子メールサーバ (SMTP)

SMTPサーバ名またはホスト名(わかっている場合): smtp.abc.com

ネットワークを検索して送信電子メールサーバを探します。

ファイアウォール内に送信電子メールサーバがある場合は、このオプションを使用します。使用する LAN の外側にあるサーバは検出されません。

前へ 次へ 終了 キャンセル

4.3.4.ポート番号を入力し、**次へ** をクリックします。

送信電子メールサーバ (SMTP)

サーバに接続するために必要な基本情報を設定します。

サーバ名 \* smtp.abc.com

ポート番号 \* 25

ホスト名または IP アドレス

このサイズより大きい場合電子メールを分割 (MB 単位) \*

0 (0-100.00)

電子メールは、指定したサイズより大きい場合、複数の電子メールに分割されます。値が 0 の場合、電子メールは分割されません。

SMTP SSL/TLS プロトコルの有効化

前へ 次へ 終了 キャンセル

#### 4.3.5.電子メールサーバ (SMTP) を設定

では、メールサーバがユーザー認証を必要とするかどうかを選択して下さい。

ユーザー認証が不要な場合には **サーバによる認証が不要** をクリックします。

ユーザー認証が必要となる場合には、**サーバに認証が必要です** を選択します。

ここでは、表示されたプルダウンリストから、**常にこれらの認証情報を使用する** をクリックする手順を記載します。

送信電子メールサーバ (SMTP)

サーバ認証要件

サーバによる認証が不要

サーバに認証が必要です

コントロールパネルでのログイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する

コントロールパネルでのログイン後に、ユーザー認証情報を使用して接続する

常にこれらの認証情報を使用する

外出の確認

前へ 次へ 終了 キャンセル

#### 4.3.6.アクセスの確認をします。

(1) **ユーザー名** と **パスワード** に記録している情報を入力します。

(2) **アクセスの確認** にチェックを入れます。

(3) **次へ** をクリックします。

送信電子メールサーバ (SMTP)

サーバ認証要件

サーバによる認証が不要

サーバに認証が必要です

常にこれらの認証情報を使用する

(1) ユーザー名: xyz@abc.com

(1) パスワード: \*\*\*\*\* 表示

(2)  外出の確認

(3) 前へ 次へ 終了 キャンセル



アクセスに失敗すると、「操作が失敗しました。」エラーメッセージが表示されますので、**前へ** をクリックし、[手順 4.3.4 からやり直します。](#)

The screenshot shows the '送信電子メールサーバ (SMTP)' configuration page. A red error message box is displayed at the top, stating: '操作が失敗しました。 次のエラーを修正して、再試行してください。 1. サーバに接続できませんでした。サーバ設定を確認してください。' Below the error message, the 'サーバ認証要件' section is visible. The 'サーバによる認証が必要' radio button is selected. The 'ユーザ名' field contains 'xyz@abc.com' and the 'パスワード' field is masked with asterisks. The 'パスワードの確認' checkbox is checked. At the bottom right, there are buttons for '前へ', '次へ', '終了', and 'キャンセル'.

4.3.7.SMTP サーバを使う他の機能が表示されます。

通常は、そのまま、**次へ** をクリックします。

SMTP サーバを使う他の機能が不要な場合には、不要な機能のチェックを外して、**次へ** をクリックします。

The screenshot shows the '送信電子メールサーバ (SMTP)' configuration page. The 'サーバ使用状況' section is visible, containing the following text: 'このサーバから電子メールを送信する機能を選択してください。SMTPサーバの設定は、これらの機能を有効化する手順のうちの1つです。このサーバを次の目的で使用' followed by three checked checkboxes: '電子メールに添付した文書およびページステータス通知を送信します。', 'ファックスファックス送信方法がインターネットファックスに設定されている場合、ファックスを送信します。', and 'AutoSend: デバイス情報を HP または他の受信者に送信します。'. There are also unchecked checkboxes for '自動電子メール: このデバイスによって送信される自動電子メールの例としては、デバイス警報、スケジュールされたレポート、ファックスアーカイブなどがあります。' and '自動電子メール: このデバイスによって送信される自動電子メールの例としては、デバイス警報、スケジュールされたレポート、ファックスアーカイブなどがあります。'. At the bottom right, there are buttons for '前へ', '次へ', '終了', and 'キャンセル'.



#### 4.3.8.Eメールのテストを行います。

**テスト電子メールを送信** に宛先の E メールアドレスを入力して、**テスト** をクリックします。

#### 4.3.9.「正常に送信しました。受信トレイまたは迷惑メールフォルダを確認してください。」と表示されることを確認し、**終了** をクリックします。

\* エラーメッセージが表示され、テストメールが届かない場合は、**前へ** を数回クリックし、設定を [手順 4.3.4 からやり直します](#)。



#### 4.3.10.テストメールが着信したことを確認して下さい



#### 4.3.11.EWS の ファックス - ファックスアーカイブおよび転送 画面で、差出人 と 宛先 を設定し、適用 をクリックします。

宛先	Fax の転送先のメールアドレスです。 セミコロン (;) またはカンマ (,) で区切ることで、最大 100 件の宛先を設定することができます。
差出人	本製品が差出人とわかるような、メールアドレスを設定します





